

令和4年度 シラバス（福祉）

学番 56 県立八海高等学校

教科	福祉	単位数	3	学年（コース）	3学年（福祉コース）
使用教科書	『社会福祉基礎』（実教出版）				
副教材等	介護職員初任者研修テキスト第3版（ミネルヴァ書房）				

1 学習目標

社会福祉に関する基礎的、基本的な知識を習得し、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解し、社会福祉の充実・向上を図る能力と態度を向上させる

2 指導の重点

- ①身近な題材や資料、体験などをもとに、社会福祉に関する興味・関心を育てます。
- ②今までの学習で得た知識等と関連づけながら、現在の社会で起きている福祉的な課題への理解を深めます。
- ③自分の感じ方・考え方をみつけ、他者との違いや共通点、自分らしさを模索しながら、人と向き合う姿勢を大切にできるように学んでいきます。

3 学習計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動	時間	評価方法
4	社会福祉の歴史と福祉社会の課題	諸外国における社会福祉	・アメリカにおける社会福祉 ・北ヨーロッパの社会福祉 ・ヨーロッパの社会福祉 ・アジアの社会福祉	4	各学期および学年末とも、授業の取組状況、授業中に指示する提出物（レポート、ノート（ファイル）等）の状況、定期考査等をもとに、総合的に判断する。
		日本における社会福祉	・近代社会福祉の誕生 ・「地域福祉」の始まり ・社会事業への着手 ・戦後の混乱期から福祉三法体制の確立へ ・高度経済成長時代と社会福祉六法 ・福祉改革とゴールドプラン ・少子化への対応 ・次世代の育成支援に向かって ・障害者福祉の新しい展開	3	
	生活を支える社会福祉・社会保障制度	社会福祉・社会保障制度の意義と役割	・社会保障制度の意義と役割 ・社会福祉と社会保障制度 ・社会福祉を推進する機関	2	
		国民生活を支える社会保障制度	・社会保険制度の枠組み ・健康保険・国民健康保険 ・高齢者医療制度等 ・公的年金制度の体系 ・公的年金の給付 ・雇用保険と労災保険	2	
5	職務の理解	職務の理解	・介護職員初任者研修とは ・多様なサービスの理解 ・介護職の仕事と職場	15	
6 7	介護における尊厳の保持・自立支援	尊厳保持、自立支援	・人権と尊厳を支える介護 ・自立に向けた介護	15	
8 9	介護の基本	職業倫理、リスクマネジメント	・介護職の役割、専門性と他職種との連携 ・介護職の職業倫理 ・介護における安全の確保とリスクマネジメント ・介護職の安全	15	
10 11	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度・福祉サービス、医療との連携	・介護保険制度 ・医療との連携とリハビリテーション ・障害者総合支援法（障害者自立支援制度）とその他制度	20	
12	介護におけるコミュニケーション技術	コミュニケーション技術	・介護におけるコミュニケーション ・介護におけるチームのコミュニケーション	11	
1	生活を支える社会福祉・社会保障制度	生活支援のための公的扶助	・生活保護とは ・種類と基準 ・実施運営体制と最近の動向	2	
		子ども家庭福祉	・少子化時代の子ども子育て支援 ・子育て支援と保育 ・障害のある子どもの福祉 ・子どものすこやかな成長への支援 ・市町村と児童相談所の役割 ・社会的養護と児童虐待への対応 ・子どもの貧困とひとり親家庭の福祉 ・子どもの権利と子ども家庭福祉	7	

4 課題・提出物

随時出される課題、レポートなど

5 評価基準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用・技能	知識・理解
・社会福祉に関心を持ち、高齢者、障害者、児童福祉に関する福祉の意義や理念を理解する態度を身に付けている。	・現代の社会福祉に対して思考する力を身に付け、適切に判断し、表現している。	・社会福祉の諸問題や理念について、身近なことから結びつけて考え、必要な情報を得て整理し、発表している。	・社会福祉の基礎的、基本的知識を身に付け、福祉従事者としてのあり方を理解している。 ・福祉の担い手としての自覚を表現している。

6 担当者から一言

社会福祉に関する歴史や現在の課題について理解し、初任者研修を修了するにふさわしい、専門的な知識を身に付けてほしいと考えています。歴史や法制度の内容は、やや難しく、興味を持ちにくい内容も含まれると思いますが、福祉の流れ（歴史）や体系（法制度）を理解することで、より広い視野で福祉のあり方を考えることができます。基礎的な知識をしっかりと身に付けていきましょう。